

施政方針の概要

平成27年度

問い合わせ 企画課 ☎38-2127

平成27年「第1回市議会定例会」(2月17日)において、山中市長が表明した『施政方針』の概要をお知らせします。
※全文は、市役所北館1階行政情報コーナー、市ホームページでご覧いただけます。

施政の基本方針



施政方針を表明する山中市長

平成27年は、戦後70年、阪神・淡路大震災から20年、市制施行75周年、非核平和都市宣言30周年を迎える節目の年です。この節目を次への新しいスタートと捉え、より一層の市政発展に向け、健康・福祉・教育などの施策の充実とともに、安全・安心の協働にも配慮し、市民の皆さんとの協業のもと、まちづくりに取り組みます。

少子高齢化の進展に伴う財政構造の変化や老朽化する公共施設等への対応など、諸課題を解決するための行政改革の推進が、震災関連の市債残高が依然として多額の中で、増加する社会保障経費への対応や、今後に控える事業を着実に進めるため、財政健全化に努め、行財政改革を進めます。また、老朽化する公共施設やインフラ整備など、全ての資産を適正管理するとともに、「地方創生」にも取り組みます。

快適で住みよいまち・芦屋の創造 独自の屋外広告物条例の制定に取り組み、より一層優れた住環境の形成に努めます。シーサイド地区および南芦屋浜地区では、パイプライン施設のあり方についての検討を進めるほか、南芦屋浜地区での小学校建設と認定こども園誘致に向け、県企業庁と用地取得について協議します。防災・減災では、国土強靱化地域計画について検討し、実施可能な施策に取り組みます。「災害時要援護者避難支援計画」では、地域の支援者等と連携し、個別計画の策定を進めます。土砂災害では、県が土砂災害警戒区域の総点検結果を公表後、市が周知・啓発するほか、防災情報マップの配布と説明会を開催するなど、安全・安心のまちづくりを進めます。

子どもたちが心豊かに健やかに成長するための基盤整備 認可保育所定員数1,000人を達成しましたが、引き続き待機児童解消に取り組みとともに、本年4月から「子ども・子育て支援事業計画」がスタートしますので、小規模保育事業の実施など、子育て環境の充実に取り組みます。就学前教育では、教育ニーズを踏まえ、公立幼稚園の適正配置を検討するとともに、浜風幼稚園を平成28年3月に廃園後、認定こども園として平成29年4月からの開園に向けて、準備を進めます。教育環境の充実として、岩園幼稚園の建て替え工事をはじめ、岩園小学校の増築工事に着手するほか、潮見中学校で本年10月からの給食開始に向けて、引き続き給食棟新築工事を行います。

①人と人がつながって新しい世代につなげる

市民が主体となった地域主体のまちづくり

広報活動では、新たな広報媒体の活用も含め、広報全体を見直し、自治会・NPO・ボランティア団体等による地域課題の協議の場として、ブロックごとの地域を開設し、市民活動を支援します。あしや市民活動センターに施設予約システムを導入します。朝日ヶ丘集会所の大規模改修工事を行います。

多様な文化スポーツ芸術伝統が交流するまちづくり

図書館では、重点的に児童図書を集集し、子どもの読書を推進します。美術博物館では、アート・パザールの内容を見直すほか、谷崎潤一郎記念館と阪神沿線7館の合同企画を実施します。

谷崎潤一郎記念館では、新しい試みで行う春の特別展を皮切りに、谷崎文学と本市の魅力発信に努めます。

市民センターおよび公民館では、古典芸能の鑑賞や「あしやびと」の軌跡をなぞる講座・イベントを実施します。また、指定管理者制度について、慎重に導入を図ります。

花と緑に彩られた美しいまちづくり

「オーブンガーデン2015」を市民の皆さんの参画と協働により、継続して実施します。「地区計画」や「まちづくり協定」について、「まちづくり連絡協議会」を中心にさらに広まるよう努めます。

住環境の保全育成のため、コンサルト派遣等を通じて、まちづくり活動の啓発や支援を行います。

環境にやさしい清潔なまちづくり

公共施設への太陽光発電設備の導入等、再生可能エネルギーの利用に努めます。本年4月からペットボルの収集を月1回から月2回に拡充します。全戸配布する「ゴミステーションのガラス被害対策ガイドブック」を市民の皆さんに活用していただき、ガラスのこみ被害を防ぐこと

お互いを尊重しながら理解と思いやりの心を育むまちづくり

平和施策では、戦後70年あたり、平和祈念講演会の開催や、非核平和都市宣言30周年記念碑を設置するなど、核兵器廃絶や恒久平和を目指した活動に取り組みます。人権擁護では、特設人権相談所の開設や人権教室、人権の花運動街頭啓発等を取り組みます。

子どもたちが社会へ羽ばたけるようたくましく育てるまちづくり

教育行政では、総合教育会議の設置と、教育・学術および文化の振興に関する大綱を定め、より一層「教育のまち」を目指します。また、教育長を代表とする新たな組織のもとで教育委員会を運営し、さらなる活性化を図ります。

児童生徒の学力向上では、算数・数学の学習指導員や理科推進員を引き続き配置します。

読書活動では、子どもに読ませる機会を増やします。また、読書活動では、子どもに読ませる機会を増やします。

③人々のまちを大切に暮らす心や暮らし方をまちなみにつなげる

もにこみ出しマナーの啓発に努めます。

交通ルールとマナーを高め、市内を安全かつ快適に移動できるまちづくり

自転車に関する交通事故防止では、賠償保険への加入啓発に努めます。防災拠点となる本庁舎東館(仮称)を本年8月完成に向けて整備します。東館竣工後は本庁舎北館および南館を改修し、部署の再配置を行います。

国道43号精道交差点歩道橋に係る道路の無電柱化では、芦屋川兩岸の詳細設計を実施するほか、さくら参道では、関係事業者との協議や地域住民の皆さんのご意見等をお聞きし、概略設計を行います。

都市計画道路では、「都市計画道路網見直しガイドライン」に沿った

②人々のつながりを安全と安心につなげる

市民が心身の良好な状態を維持するまちづくり

現行のアセスメント検査に加え、環境省の試行調査として、初回検査時に希望者へ胸部CT検査を実施します。福祉医療費助成制度では、本年7月から現在の所得制限を維持しつつ、通院医療費の無料化を中学校3年生まで拡大します。市立芦屋病院ではがんフォーラム・ホスピタルフェスタ・公開講座・健康講座などの啓発活動と、地域の医療機関従事者を対象とした研修会を開催し、地域医療の質的向上に寄与します。

暮らしの安全と安心を支えるまちづくり

消費者行政では、法律専門家の活用など対応を強化し、消費生活センターの充実を図ります。防犯カメラ設置に対する新たな補助制度を設けることで設置を促進し、犯罪抑止力の向上を図ります。犯罪被害者支援では、被害者やその家族のかたがたに対し、継続的な支援等を行うため、支援の基本となる条例の策定を進めます。

防災力を高め、災害に強い安全なまちづくり

南海トラフ巨大地震による津波避難対策として、津波一時避難施設の拡充に努めます。地震動に反応して自動開放される「防災ボックス」を避難所の小中学校へ設置し、いつでも速やかに避難できるよう施設を整備します。本市が所有する建築物の耐震化を促進し、学校施設における体育館等の非構造部材の耐震化を進めます。

高齢者や障がいのある人がいきいきと安心して住み続けられるまちづくり

生活困窮者自立支援制度では、対象者の経済的困窮と社会的孤立の予防のための必須事業に加え、就労準備支援事業を行います。住宅改造費助成では、要介護認定

④人々と行政のつながりをまちなみにつなげる

信頼関係の下での市政運営

第4次総合計画(後期基本計画)を策定します。本年10月より社会保障番号制度(マイナンバー)に基づく個人番号の通知が開始されることから、個人情報保護条例を改正します。一部施設で導入している施設予約システムでは、同じシステムで予約できるようシステム改修を行い、利用者の利便性の向上に努めます。

経営資源の有効活用と財政健全化のための取り組み

指定管理者制度では、外部視点による評価を実施し、さらなるサービスの向上と適正な運営に取り組みます。ふるさと納税では、寄附していたいたかたへのお礼として、市内産業振興を目的とした記念品贈答制度を設けます。

潮見集会所の改修工事完成 4月1日(水)から供用を開始!

問い合わせ 市民参画課 ☎38-2007
この度、潮見集会所の改修工事が完了し、4月1日(水)より供用を開始します。工事期間中は、近隣をご利用のかたがたに大変ご迷惑をおかけしました。
【潮見集会所の概要】 和室1部屋を洋室1部屋としました。
■開館時間 午前9時～午後9時30分
■休館日 月曜日・年末年始(12月29日から1月3日)
■使用方法 電話で集会所にお問い合わせください。
■所在地 潮見町7-1(☎32-4359)
※駐輪場はありますが駐車場はありません。

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/☎38-3244
ashiya-tanizakikan@rythm.ocn.ne.jp
(〒659-0052 伊勢町12-15)

【谷崎館講座】 白磁上絵付け

■日時 4月4日・18日・5月2日・30日・6月6日(土)・午前10時30分～午後0時30分 ■会場 講義室 ■内容 有田焼白磁の大皿などに絵付けを施す教室です。描かれた作品は講師が窯で焼き上げ、仕上げてくれます。(5回連続受講で1作品)
■定員 16人 ■講師 福田一義氏(肥前陶芸館創作工房主宰) ■受講料 1回2,100円(5回分前納、材料費別途必要) ■申し込み 上記へ



【谷崎館講座】 「枕草子」を読む

■日時 4月9日～(毎月第2木曜日・5月は第3木曜日・8月と1月は第1木曜日)午後2時～3時30分 ■会場 市民センター別館218室 ■内容 清少納言の「枕草子」からおすすめの章段を講師が選び、原典に沿って解説します。千年前の人々の感情のひだが生きてきよみがえります。 ■定員 40人 ■講師 鈴木紀子氏(京都橋大学名誉教授) ■受講料 3ヵ月6,300円 ■申し込み 上記へ

【谷崎館講座】 短歌

■日時 4月14日～(毎月第3火曜日、4・5・7月は第2火曜日)午前10時30分～正午 ■会場 講義室 ■内容 「五七五七七」の伝統詩形を風景を切り取り、心情を述べる短歌の方法を初歩からお教えします。 ■定員 16人 ■講師 楠田立身氏(現代歌人協会会員) ■受講料 3ヵ月8,100円 ■申し込み 上記へ

【谷崎文学朗読会】 文豪の言い遣したこと ～「癡癡(ふうてん)老人日記」の世界～

■日時 4月25日(土)午後2時～3時30分 ■会場 講義室 ■内容 「癡癡老人日記」は主人公が書く日記の形式を取りながら、老いの日々現実とも妄想ともつかない出来事をつづります。谷崎のこの小説に込めた思いを読み解きます。 ■定員 先着30人(予約優先) ■出演 朗読グループRST ■脚本・解説 井上勝博(当館学芸員) ■参加費 1,000円(観覧料含む) ■申し込み 上記へ

【特別展覧料】一般400円 《開館時間》午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 《4月の休館日》6日・13日・20日・27日(月)

4月前半	GATV 広報番組ガイド	放送時間(15分)
オープニング	芦屋市広報番組 あしやトライ あんぐる	① 9:00
トピックス	「八戸市民ボランティア会」交流事業 ウィザスあしやフェスタ2015	② 12:00 ③ 15:00 ④ 18:00
特集	美しい芦屋をまもる・つくる・そだてる	⑤ 22:30
お知らせ	不動産売のお知らせ A.C.A.セミナー	※DVD
エンディング	芦屋の四季	貸出可

■広報番組「あしやトライあんぐる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。
■番組に関する問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006 ■GATV全般に関する問い合わせ J.COMカスタマーセンター ☎0120-999-000(午前9時～午後9時)

美術博物館の催し

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/☎38-5434 (〒659-0052 伊勢町12-25)

ART MARKETあしやつくる場 関連イベント
●ワークショップ 一人だけの「かぶりもの」をつくろう! -
■日時 5月3日(日)午前10時30分～午後2時 ■会場 体験学習室 ■内容 カラフルなイラストでファッション業界でも活躍するアーティスト・MASAGONさんを講師にお招きし、事前に用意されたベースに好きな飾りを付けて、オリジナルの「かぶりもの」をつくります。※縫い針を使用します。 ■対象 どなたでも(小学生低学年は保護者同伴) ■定員 20人 ■参加費 かぶりものに取り付けたい好きな材料(着なくなった服、ぬいぐるみ・おもちゃ・端切れほか)・裁縫道具(お持ちのかた) ■申し込み 4月26日(日)までに氏名(学年は年齢も)、連絡先を電話で上記へ※定員になり次第締め切り
《開館時間》午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 《4月の休館日》6日・13日・20日・27日(月)

公民館音楽会 六車智香 母の日コンサート

■日時 5月9日(土)午後2時30分～4時 ■会場 市民センター音楽室 ■曲目 カーネーションに寄せてほか ■出演 六車智香(ソプラノ)・金子正樹(ピアノ) ■入場料 500円 ■申し込み 音楽会名・住所・氏名・参加人数(1人または2人)・電話番号を記入し、4月24日(金)までにはがきかファクスで下記へ
問い合わせ 公民館 ☎35-0700/☎31-4998 (〒659-0068 業平町8-24)



六車智香

第33回 上宮川ワンコインシアター この映画が観たい!

■日時 4月18日(土)①午前10時～11時43分②午後2時～3時48分*各回30分前より開場
■会場 上宮川文化センター3階ホール
■上映作品 ①カサブランカ(1942年/アメリカ/モノクロ/103分)②哀愁(1940年/アメリカ/モノクロ/108分)
■出演 ①イングリッド・バーグマンほか②ヴィヴィアン・リーほか
■入場料 1人1作品500円(中学生以上・当日券のみ) ※完全入れ替え制 ※ただし、満席の場合は入場を制限させていただきます。ご了承ください。お問い合わせ 上宮川文化センター ☎22-9229



カサブランカ



哀愁